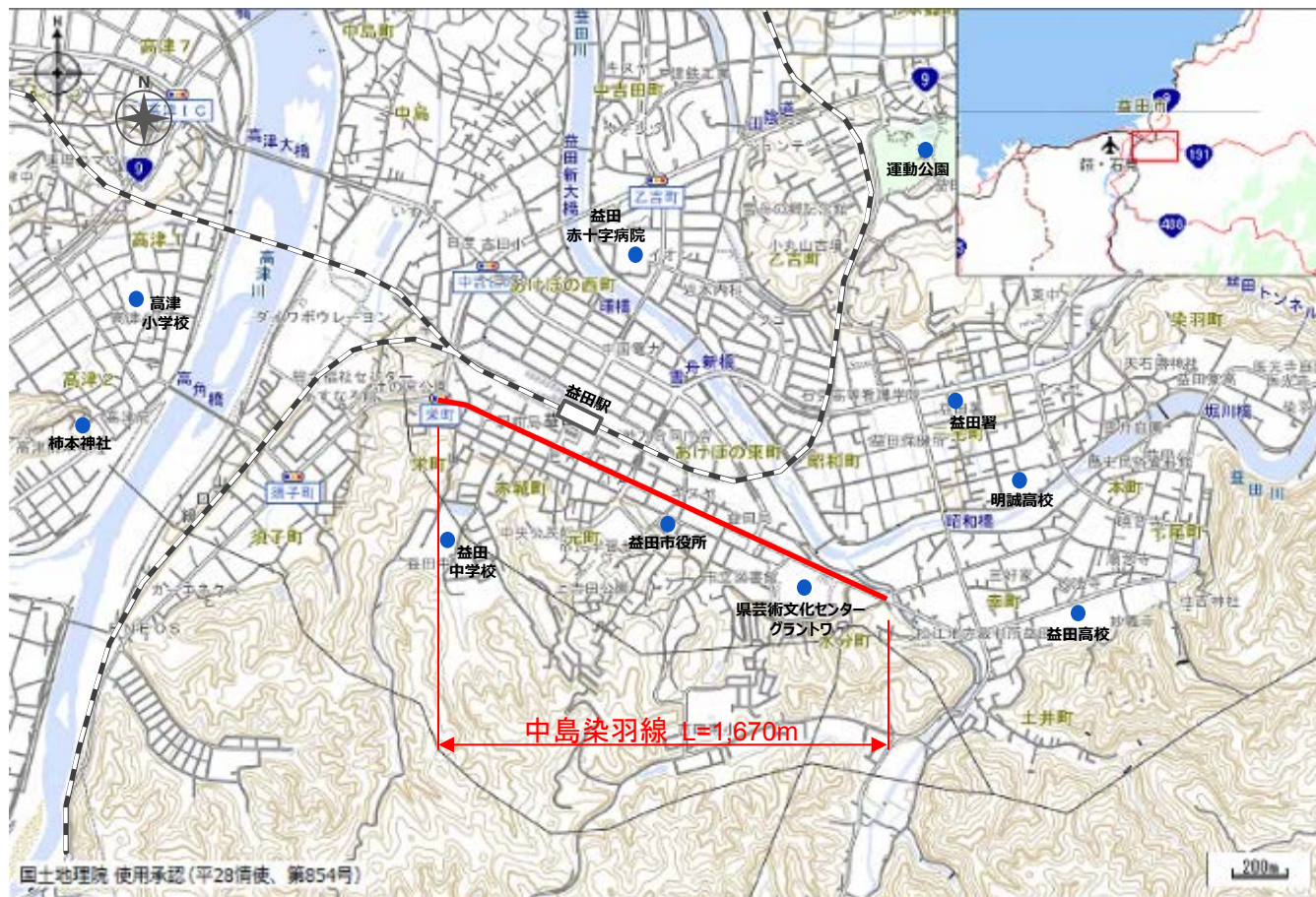


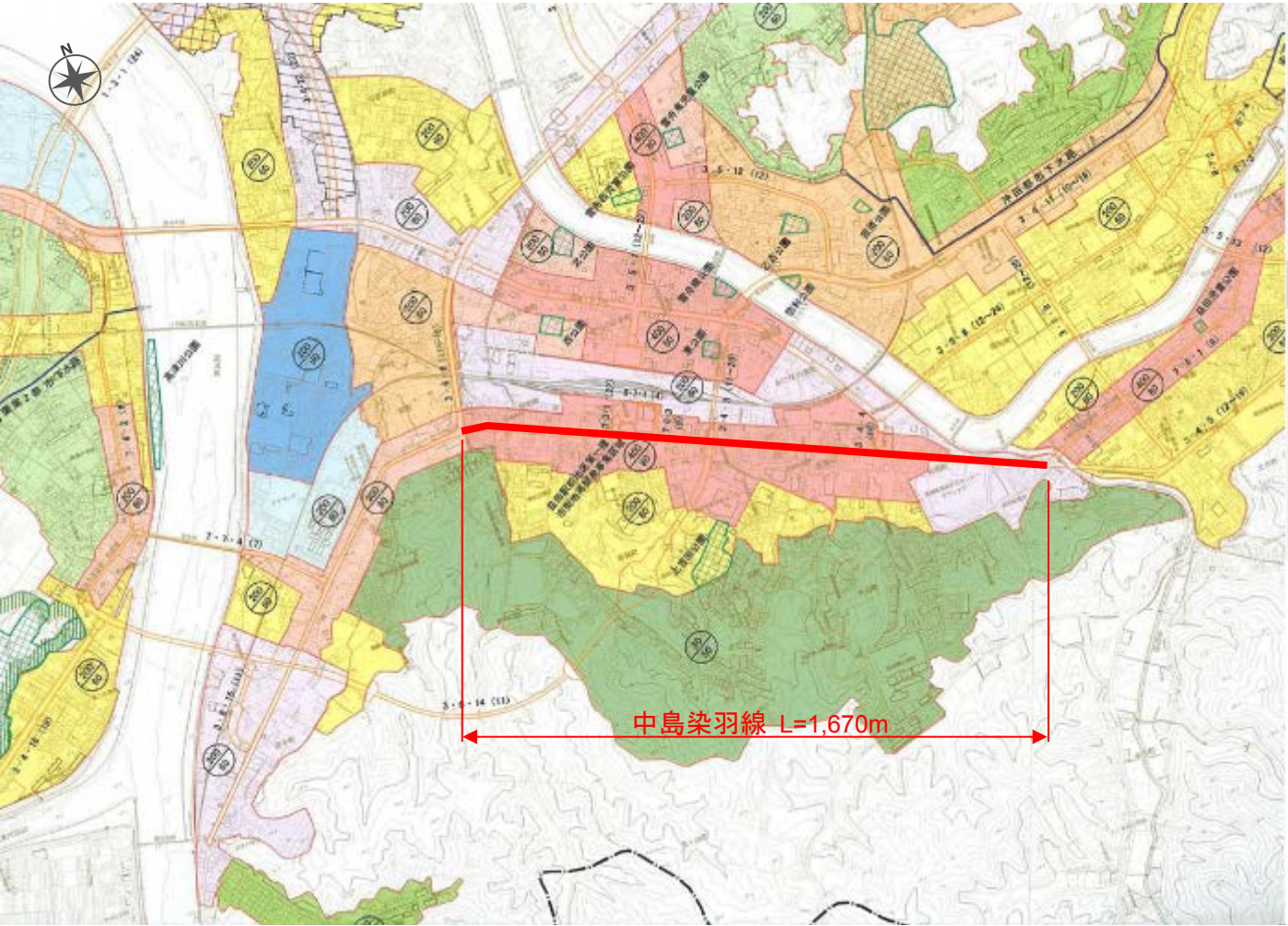
事業概要

ふりがな 応募者名	しまねけんとしけいかくか 島根県都市計画課
ふりがな 事業の名称	なかのしまそめばせん ぼうさいあんぜんこうふきん(がいろ)じぎょう 中島染羽線 防災安全交付金(街路)事業
ふりがな 事業主体	しまねけんますだけんどせいびじむしょ 島根県益田県土整備事務所
ふりがな 実施都市名	しまねけんますだし 島根県益田市
事業概要 (400字以内)	都市計画道路中島染羽線は益田市の中心市街地を東西に貫き、沿道には商店のほか、JR益田駅や市役所、市立図書館が建ち並ぶ益田市の顔とも言えるべき通りであるが、道路幅員は全幅8m(歩道無し)と狭く、歩行者の安全性や車輛のスムーズな走行に課題があり、また、都市施設の利便性・快適性の低下や定住人口の減少から、益田市中心市街地としての都市機能の低下が懸念されていた。このことから、当該事業では、沿線で計画されていた益田駅前地区市街地再開発事業と島根県芸術文化センター建設と連携し、一体的な整備を進めている。 歩道部には沿線・地域住民による「道づくり懇親会」および島根県景観アドバイザーの意見を反映して決定された景観資材(舗装材・照明灯・街路樹種等)を採用したほか、電線類の地中化、幅広歩道、車道拡幅等の整備により、歩行者がゆっくり楽しんで歩ける、益田市のメインストリートに相応しい道へと再生が図られた。
事業規模	○事業延長: 1,670m ○事業費: 約190億円 ○幅員: 19m ○事業期間: 平成9年～平成29年
事業の目的	・中心市街地活性化(まちづくり)の支援 ・歩行者の安全性の確保 ・市街地の円滑な交通の確保 ・防災機能の強化
事業効果 (効果一覧を参考に 具体的な効果を記入)	・良好なまち並みの形成 ・歩行者交通量増加 (H9:94人/12h → H27:151人/12h) ・益田市観光客入込数増加 (H9:736千人/年 → H29:957千人/年) ・益田市中心市街地の活性化 ・安全安心で快適な歩行空間の確保 ・円滑な交通の確保 ・防災機能の強化
地元対応等 ・地域住民との協働等 ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点	景観整備計画立案にあたり、沿線自治会・商店街、益田市身体障害者福祉協会、益田市等で構成された、地域住民の代表による「道づくり懇親会」を開催し、舗装材の色調や材質、照明灯や街路樹の種類を検討しており、地域の意見を取り入れると共に、計画に対する合意形成を図った。

事業位置図

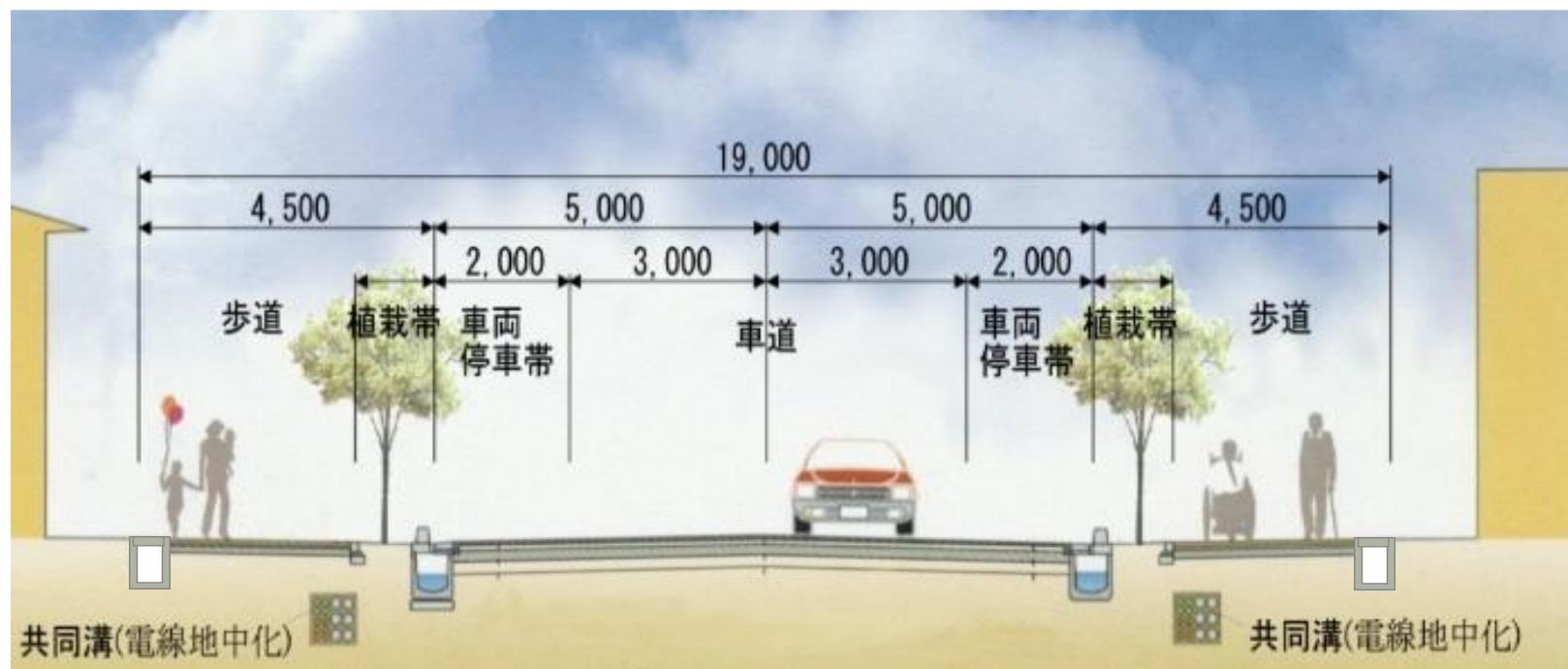


都市計画図(用途地域図)



断面図

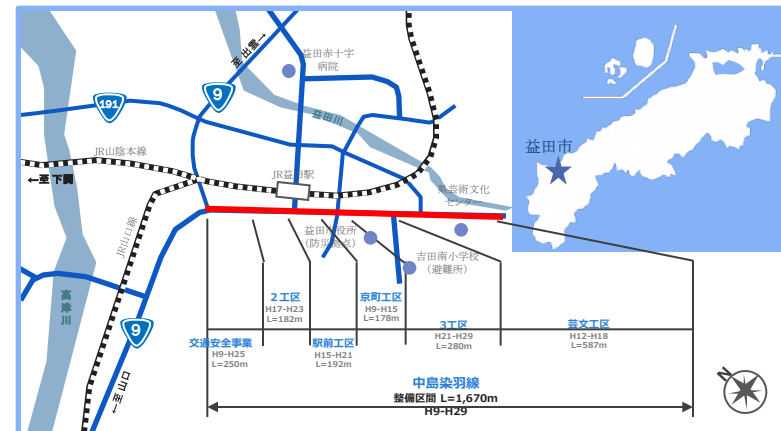
幅員： 19m（車道10.0m、歩道4.5m×2）



路線全体の進捗状況

◆ 延長1,670m 全区間供用済

事業名（工区名）	事業年度	施工延長
交通安全施設整備事業	H9-H25	L=250m
街路事業(京町工区)	H9-H15	L=178m
街路事業(芸文工区)	H12-H18	L=587m
街路事業(駅前工区)	H15-H21	L=192m
街路事業(西銀座工区：2工区)	H17-H23	L=182m
街路事業(京町・吉田東工区：3工区)	H21-H29	L=280m



事業前写真



事業後写真



中島染羽線の事業効果アピール資料

良好なまち並みの形成

・文化と芸術が薫り、 賑わいあふれる都市空間の創造

■景観整備計画の作成

沿線自治会・商店街、益田市身体障害者福祉協会、益田市等で構成された、地域住民の代表による「道づくり懇談会」を開催し、舗装材の色調や材質、照明灯や街路樹の種類を検討した。また、島根県景観アドバイザーによる専門的な立場からのアドバイスも反映し、計画を策定している。

中島染羽線 道づくり懇談会



懇談会の様子



舗装パターン検討の様子

■電線類地中化(無電柱化)

全事業区間で電線類地中化を実施し、良好な都市景観の形成に寄与した。



賑わいの創出

- ・歩行者交通量増加 **1.6倍** ↑
(整備前94人/12h(H9)⇒整備後151人/12h(H27))
- ・益田市観光客入込数増加 **1.3倍** ↑
(整備前736千人/年(H9)⇒整備後957千人/年(H29))
- ・益田市中心市街地の活性化

■道を使ったイベントの開催



ますだ祭り



INAKAライド

■沿道の市街地整備事業との連携

益田駅前地区第1種市街地再開発事業

益田市における中心市街地活性化の先導を担う事業として、駅前広場・駐車場・都市計画道路の整備とあわせ、商業・業務施設・ホテル施設及び共同住宅などを一体的に整備した。



再開発ビル(EAGA)

島根県芸術文化センター(グラントワ)

「島根県立美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」で構成される芸術文化施設。28万枚の石州瓦で屋根をふき、外壁などを覆った独特の造形美。地域文化・芸術の情報発信拠点として活用されている。



グラントワと中島染羽線

中島染羽線の事業効果アピール資料

安心安全で快適な歩行空間

歩行者、車両双方の安全性の実現

歩車道を分離することで、歩行者・車両双方の安全性の確保に寄与した。
また歩道幅については、歩行者が滞留したり、並んで歩いたりできるよう、両側4.5mの幅広歩道を整備した。



楽しみながら歩ける道へ

道づくり懇親会での意見を反映し、季節感のある街路樹や、駅前の集いと賑わいのゾーンと島根県芸術文化センター前のふれあいの芸術文化ゾーンで色調に変化をつけた舗装、クラシック系の照明灯を採用した。照明灯には暖色系の灯りを用い、夜間の通りを暖かく演出する。

街路樹

季節感のある街路樹
【モミジバフウ】
駅前（アメリカナツウ）
マンサナク、香取広葉樹



透水性インターロッキングブロック舗装
・点字ブロック

集いの賑わいゾーン



ふれあいの芸術文化ゾーン



照明灯

クラシック系

防災機能の強化

電線類地中化(無電柱化)

当該路線は第一次緊急輸送道路に指定されており、また、沿線には市役所等の避難施設が多数存在することから、益田市街地の防災道路として重要な位置づけとなっている。
無電柱化の実施により、災害時の電柱倒壊を防ぎ、道路・避難路の分断を解消する。



延焼防止帯としての機能

道路幅員を8m→19mに拡幅したことで、延焼防止帯としての効果が期待でき、火災時における延焼拡大の防除に貢献する。

円滑な交通の確保

交通渋滞の解消

車道の拡幅、歩車道分離、また右折車線のない食い違い交差点の解消等により、交通渋滞の解消・交通の円滑化に寄与した。



受賞歴・報道資料

H30.3. 山陰中央新報

中島染羽線の全線開通を祝う竣工式

京町工区完成式

H16.7.2 山陰中央新報

益田市中心市街地 土木部長が「21年の
を東西に貫く(中島)歳月を掛け、益田市
染羽線1・67km(栄)の顔にふさわしい道
町(有明町間)が21路に生まれ変わっ
日完成した。
市民学習センター
で開かれた記念式典
では、佐々木孝夫県
章益田市長も「全線

テープカットで竣工を祝う関係者ら＝益田市常盤町



幅19m(両側歩道)。備と一体となった市
商店や住宅が混在す 街地活性化を進め
る益田駅前周辺の地
た。

完成は住民の長年の 域活性化と都市機能
悲願。益田市のさら 強化を目的に97(平
なる発展を」と喜び 成9)年度から整備
をかみしめ
た。
また、益
田市役所前
での記念行
事では、関
係者や市民
ら約300
人がテープ
カットや餅
まきをし、
竣工を祝っ
た。

190億円投じ1.7km整備

300人が竣工祝う

中島
染羽線

これに併
せ、市では
益田駅前再
開発事業で
駅前ビル3
棟、県は芸
術文化セン
ター「グラ
ントワ」を
建設するな
ど、道路整

円。
190億
総事業費約
中化した。
電線類も地
りにより、
220棟余
物移転は約
に着手。建
成9)年度から整備
なる発展を」と喜び 成9)年度から整備
をかみしめ
た。
また、益
田市役所前
での記念行
事では、関
係者や市民
ら約300
人がテープ
カットや餅
まきをし、
竣工を祝っ
た。

H16.7.2 山陰中央新報

京町工区の街路一新

益田・県道
中島染羽線
拡幅終え完成式

拡幅工事が進められている京町工区(中島染羽線)の拡幅工事が完了し、完成式が行われた。当日は関係者や市民ら約100人が参加し、テープカットで竣工を祝った。

京町工区は、京町交差点から益田駅前まで、幅員19m(両側歩道)の拡幅工事が完了した。これにより、京町工区の街路が一新され、安全性と利便性が向上した。

完成式には、関係者や市民ら約100人が参加し、テープカットで竣工を祝った。当日は関係者や市民ら約100人が参加し、テープカットで竣工を祝った。

早期全線開通を願う灯籠イベント

H18.12.24 山陰中央新報

H18.12.24 山陰中央新報

全線改良願い灯籠 600個に次々点火

益田・県道
中島染羽線

全線改良を願い、600個の灯籠が次々と点火された。この灯籠イベントは、全線開通を願い、地域の活性化を図るために行われた。

灯籠には「全線開通を願い、地域の活性化を図る」というメッセージが記されている。灯籠は、京町交差点から益田駅前までの区間に設置された。

点火式には、関係者や市民ら約100人が参加し、灯籠を次々と点火した。当日は関係者や市民ら約100人が参加し、灯籠を次々と点火した。

受賞歴・報道資料

H.30.10.20 中国新聞α



益田市ホームページより (H30.11.8現在)



愛称の選考結果は、
H31.2中旬頃発表予定

10月21日をもって、「都市計画道路中島染羽線」の愛称の募集は終了しました。
出願の皆さまから、637件のご応募をいただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。
愛称については、愛称選考委員会が審査の上で最優秀者を決定します。
愛称の選考結果につきましては、愛称審議会に開催通知するほか、市のホームページなどで発表します。(2月中旬頃予定)

地域の方に中島染羽線を身近に感じて
もらえるよう、益田市で愛称を募集した。
(応募期間：H30.10.1～10.30)

愛称応募用紙

「都市計画道路中島染羽線」愛称募集

皆様にもいつでも愛され親しまれる道路となるよう、都市計画道路中島染羽線の愛称を広く募集します。

募集期間 10月1日(月)～10月31日(水) ※当日消印有効



- 応募資格 どなたでも応募できます。
※応募は、一人一点に限ります。
- 応募方法 必要事項を記入の上、FAX、メール、応募箱、または官製はがき(当日消印有効)に
応募用紙を貼付して応募してください。
- 記載事項 ①愛称(ふりがな) ②愛称の説明(理由、意味など)
③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤郵便番号、住所
⑥電話番号
※応募用紙によらない応募の場合、記載事項のすべてが記入されていないものは無効とします。
- 賞・贈品 最優秀賞(1点)に東京往復航空チケットを贈呈します。同多数の場合は、抽選により受賞者を決定します。
- 愛称基準 ・益田らしさを感じるもの
・幅広い年齢層の方にとって覚えやすいもの
・広く愛され親しまれるもの
・自作が主発表のもの
- 決定・結果発表 益田市が設置する「愛称選考委員会」において選考の上、最優秀者を市長が決定し、受賞者本人へ通知するとともに、広報ますだおよび益田市ホームページ等に公表します。
- その他 ・応募に伴う個人情報については、本目的以外に使用することはありません。
・採用された愛称に要する一切の権限は、益田市に帰属します。
・愛称の採用に当たっては、若干の修正を加える場合があります。
・応募作品は返却しません。
- 応募・問い合わせ先 〒898-8650 益田市常盤町1番1号
益田市都市整備課 建設総務係 宛
☎ 31-0352 38 31-1480
✉ toshi@city.masuda.lg.jp

愛称応募用紙

ふりがな	
氏 名	年齢(歳)
住 所	
電話番号 ()	
愛称	
(ふりがな)	
愛称の説明(理由、意味など)	